

株主・投資家のみなさまへ

第84期

# 事業報告書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

S p e e d  
&  
S t r e t c h

 四国化成工業株式会社

新商品 パレット弾性タイプ

証券コード:4099



## Index

社長ごあいさつ	2
<b>連結</b> 営業の概況	3
<b>連結</b> 事業部門別概況	5
<b>連結</b> 貸借対照表	7
<b>連結</b> 損益計算書 / キャッシュ・フロー計算書	8
<b>単独</b> 貸借対照表	9
<b>単独</b> 損益計算書 / 利益処分	10
トピックス	11
会社概要	13
株式情報	14



代表取締役社長 山下 矩仁彦

## 株主・投資家の皆様へ

株主・投資家の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第84期(平成15年4月1日から平成16年3月31日)における事業の概況と業績につきまして、ご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、当初、イラク戦争や新型肺炎(SARS)の影響がありましたが、夏場以降輸出の回復と企業収益回復に伴う設備投資の増加により景気底離れの傾向が見え始めました。

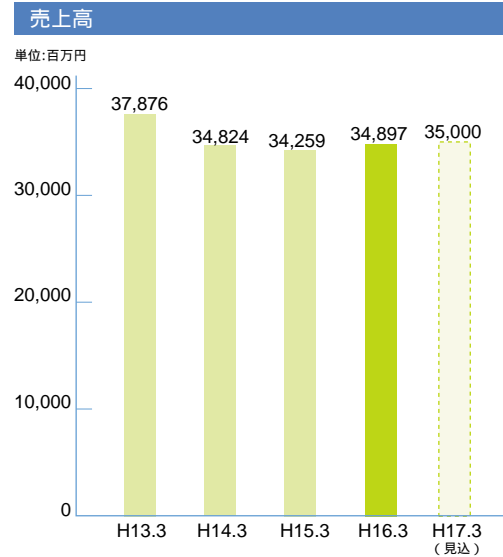
当社化学品事業ではIT関連のファインケミカル商品等需要が引き続き堅調に推移しましたが、一部商品は市場環境の悪化や円高ドル安の影響を受け、全体では増収減益となりました。

一方、建材事業は、外装材や舗装材が伸びた壁材部門と環境対応型商品やバリアフリー商品を拡充した景観エクステリアは前年を上回りましたが、住宅エクステリアは熾烈な市場競争の影響を受け、全体では増収減益となりました。

厳しい環境の下、グループを挙げてのコストダウンを図りましたが、円高による為替差損の発生と競争激化による販売価格低下の影響から、営業利益、経常利益は減益となりました。一方、退職給付会計変更時差異償却が前期で完了したことや、前期に計上していた投資有価証券の評価損が無かったことから、当期純利益は増益となりました。

当社では「豊かで輝く企業、小粒でも世界に通用するグローバル・ニッチ企業」をビジョンに掲げ、独自技術を始めとするコア・コンピタンスに根ざした持続的な成長を目指し、その実現にグループを挙げて取り組んでまいります。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ●円高と競争激化で増収ながら経常減益となりました。

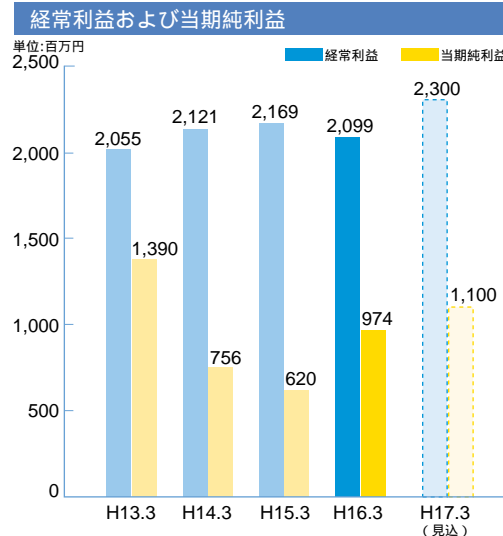


### 営業の経過および成果

当期のわが国経済は、年度始めはイラク戦争や新型肺炎(SARS)の影響、またデフレの進行や雇用不安・所得減少等により低迷しましたが、夏場以降は輸出の回復と企業収益回復に伴う設備投資の増加により景気は底離れし、大都市圏中心だった景気回復が地方にも広がり始めてまいりました。

このような状況下、化学品事業ではIT関連のファインケミカル部門が引き続き順調に推移しました。また、有機化成品部門は、円高ドル安の影響を受けましたが、数量増により増収となりました。無機化成品部門は、無水芒硝が市場環境の悪化により低調でありました。一方、建材部門は住宅着工戸数がやや回復しましたものの公共事業抑制の影響を受けました。

この結果、当期の連結売上高は348億97百万円 前年同期比1.9%の増収となりました。収益面では、コスト削減に努めましたが円高と競争激化の影響を受け、営業利益は23億60百万円 前年同期比1.9%の減益となりました。経常利益は金融収支の改善に努めましたが、為替差損の計上により20億99百万円 前年同期比3.2%の減益となりました。当期純利益はたな卸資産評価損を計上いたしました。退職給付会計における変更時差異償却が前期末で終了し、投資有価証券評価損の計上がなかったことなどから9億74百万円 前年同期比57.0%の増益となりました。

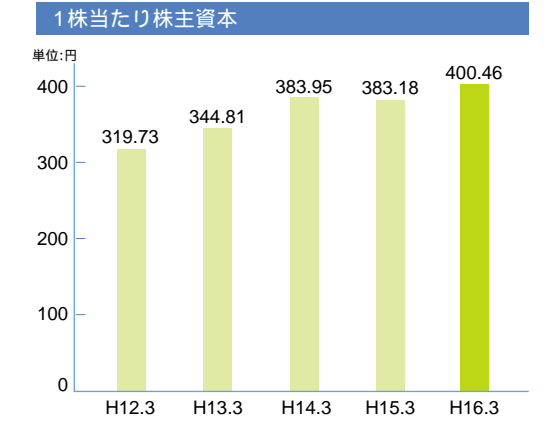
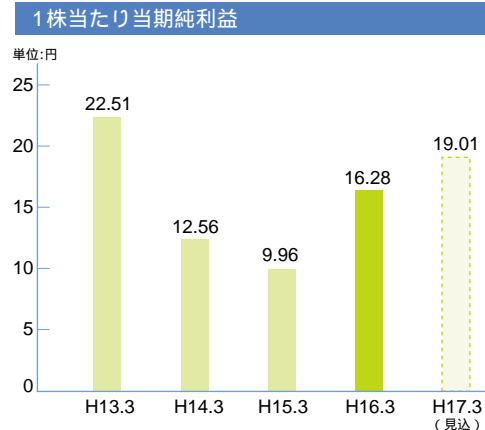
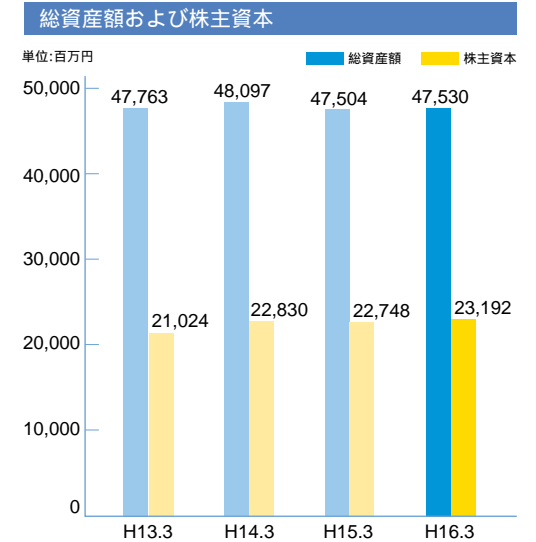


## ●事業構造の改革に注力し業績向上に努めてまいります。

### 対処すべき今後の課題

今後のわが国経済は、内外景気を持ち直しが期待される一方、イラク戦争の戦後処理問題に端を発する国際情勢の悪化、円高や原材料の高騰、米国の双子の赤字復活など不安要因も山積しており、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、経済環境の急激な変化にスピーディーに対応し、事業構造の改革に一層注力して、より強靱な企業体質の構築を追求するとともに、コア・コンピタンスに根ざした新規商品・事業の育成、顧客満足を目指した営業活動の展開、グループあげての抜本的なコスト削減、効率的かつ効果的な財務体質への転換などの諸施策を着実に実践して連結グループとしての業績の向上拡大に努める所存であります。



## 建材事業

壁材は、健康志向の高まりに対応した内装材の充実や、天然素材を用いた舗装材と多彩な施工が可能な外装材の拡販により前年同期を上回りました。また、景観エクステリアは公共投資が減少するなか、「ゴミストッカー」などの環境対応型商品の拡販やセキュリティおよびバリアフリー商品群の充実により前年同期を上回りましたが、住宅エクステリアは熾烈な市場競争の影響を受けました。

以上の結果、建材事業の売上高は170億79百万円 前期比0.8%の増収、営業利益は16億60百万円 前期比2.4%の減益でありました。



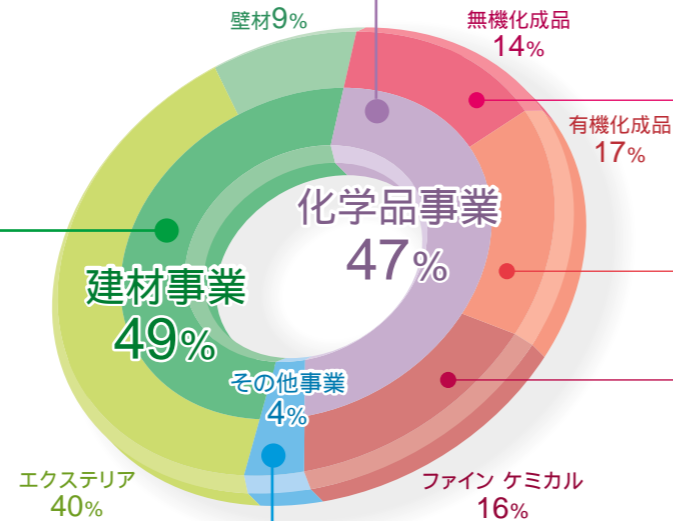
さやか炭100(新商品)



マイポートワイドタイプ(新商品)

### 売上高構成比

合計34,897(百万円)



### その他事業

情報システム事業は、地域に密着した営業活動を展開した結果、ソフト開発は堅調に推移し増収となりました。一方、機器販売は減収となりました。ファーストフード事業は、食材に対する消費者の安全志向が一段と高まるなど厳しい状況下、品質・健康を意識した商品を展開するとともに、採算性の向上に努めました。商事部門は、個人消費の回復が弱く、減収となりました。

以上の結果、その他の事業の売上高は14億47百万円 前期比23.2%の増収、営業利益は1億2百万円 前期比5.8%の増益でありました。

## 化学品事業

### 無機化成品

不溶性硫黄は引き続き内外の旺盛な需要によりフル稼働となりましたが、無水芒硝は市場環境の悪化により低迷いたしました。二酸化炭素は内外で拡販に努めました。



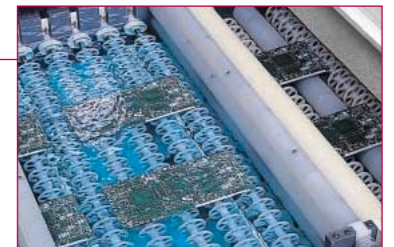
### 有機化成品

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、国内ではレジオネラ属菌感染症対策用途が伸びましたものの冷夏によるプール用途の落ち込みにより低迷し、海外では拡販に努めたものの競争の激化と円高ドル安の影響を受けました。耐熱電線向けのセイクは、国内市場の縮小により減収となりました。廃水処理剤であるハイポルカは、引き続き市場開拓に尽力しました。



### ファインケミカル

プリント配線板向けの水性防錆剤であるタフエースは内外での拡販によりシェアを伸ばし増収となりました。また、エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は内外とも堅調な動きとなりました。



タフエースによるプリント配線板の処理ライン

以上の結果、化学品事業の売上高は163億71百万円 前期比1.4%の増収、営業利益は20億56百万円 前期比1.0%の減益でありました。



(単位:百万円)

資産の部			負債の部		
	第84期 (平成16年3月31日現在)	第83期 (平成15年3月31日現在)		第84期 (平成16年3月31日現在)	第83期 (平成15年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>17,524</b>	<b>17,313</b>	<b>流動負債</b>	<b>12,260</b>	<b>18,121</b>
現金預金	2,173	2,503	支払手形	1,775	2,392
受取手形	2,055	1,768	買掛金	4,574	4,599
売掛金	7,395	6,670	短期借入金	3,220	2,780
有価証券	—	26	1年内返済長期借入金	340	709
製品	2,283	2,563	1年内償還転換社債	—	5,439
商材	1,723	2,478	未払金	873	728
原材料	556	474	未払法人税等	341	526
仕掛品	22	16	未払消費税等	66	12
貯蔵品	412	320	未払費用	829	746
繰延税金資産	460	285	預り金	239	186
その他流動資産	490	256	<b>固定負債</b>	<b>10,266</b>	<b>4,419</b>
貸倒引当金	48	53	長期借入金	6,669	1,509
<b>固定資産</b>	<b>26,611</b>	<b>26,804</b>	繰延税金負債	95	—
<b>有形固定資産</b>	<b>16,907</b>	<b>17,745</b>	再評価に係る繰延税金負債	1,435	909
建物	4,248	4,418	退職給付引当金	1,946	1,884
構築物	439	514	その他固定負債	120	115
機械装置	3,062	2,844	<b>負債合計</b>	<b>22,526</b>	<b>22,540</b>
車両運搬具	10	12	<b>資本の部</b>		
工具器具備品	358	383	<b>資本金</b>	<b>6,867</b>	<b>6,867</b>
土地	8,787	9,130	<b>資本剰余金</b>	<b>5,741</b>	<b>5,741</b>
建設仮勘定	0	440	資本準備金	5,741	5,741
<b>無形固定資産</b>	<b>185</b>	<b>165</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>7,801</b>	<b>8,038</b>
ソフトウェア	160	139	利益準備金	1,133	1,133
電話加入権	25	25	任意積立金	5,903	5,910
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,517</b>	<b>8,893</b>	配当準備積立金	950	950
投資有価証券	7,330	6,107	特別償却準備金	2	2
子会社株式	1,296	1,296	固定資産圧縮積立金	451	458
長期貸付金	481	532	別途積立金	4,500	4,500
長期前払費用	3	7	当期末処分利益	764	994
繰延税金資産	—	509	<b>土地再評価差額金</b>	<b>830</b>	<b>1,341</b>
退職金保険積立金	165	207	<b>株式等評価差額金</b>	<b>1,089</b>	<b>2</b>
その他投資等	251	247	自己株式	722	414
貸倒引当金	11	14	<b>資本合計</b>	<b>21,609</b>	<b>21,577</b>
<b>資産合計</b>	<b>44,135</b>	<b>44,117</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>44,135</b>	<b>44,117</b>

(単位:百万円)

経常損益の部		
	第84期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第83期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
<b>■営業損益の部■</b>		
売上高	33,107	33,038
売上原価	22,664	22,579
販売費及び一般管理費	8,724	8,615
<b>営業利益</b>	<b>1,718</b>	<b>1,843</b>
<b>■営業外損益の部■</b>		
営業外収益	232	243
受取利息及び配当金	203	193
雑収益	29	49
営業外費用	404	362
支払利息及び手形売却損	143	125
社債利息	23	46
為替差損	123	90
雑損失	114	100
<b>経常利益</b>	<b>1,546</b>	<b>1,725</b>
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	205	404
固定資産売却益	—	15
投資有価証券売却益	203	77
退職給付過去勤務債務償却額	—	295
貸倒引当金戻入益	2	16
特別損失	870	1,271
固定資産除却損	290	68
固定資産売却損	126	—
投資有価証券評価損	—	710
たな卸資産評価損	330	—
特別退職金	8	151
役員退職慰労金	108	36
退職給付会計基準変更時差異償却額	—	272
その他	6	31
<b>税引前当期純利益</b>	<b>881</b>	<b>858</b>
法人税、住民税及び事業税	616	561
法人税等調整額	276	129
<b>当期純利益</b>	<b>542</b>	<b>427</b>
<b>前期繰越利益</b>	<b>774</b>	<b>953</b>
自己株式消却額	299	85
自己株式処分差損	6	3
土地再評価差額金取崩額	43	30
中間配当額	203	267
<b>当期末処分利益</b>	<b>764</b>	<b>994</b>

(単位:円)

利益処分		
	平成16年3月期	平成15年3月期
<b>当期末処分利益</b>	<b>764,160,612</b>	<b>994,477,230</b>
固定資産圧縮積立金取崩額	57,503,770	15,880,623
特別償却準備金取崩額	699,250	699,250
<b>計</b>	<b>822,363,632</b>	<b>1,011,057,103</b>
<b>利益処分額</b>	<b>222,475,308</b>	<b>237,053,970</b>
配当金	202,475,308 (1株につき3円50銭)	207,508,382 (1株につき3円50銭)
取締役賞与金	20,000,000	20,000,000
固定資産圧縮積立金	—	9,512,704
特別償却準備金	—	32,884
<b>次期繰越利益</b>	<b>599,888,324</b>	<b>774,003,133</b>
<b>株主總會承認日</b>	平成16年6月25日	平成15年6月26日

1株当たり株主配当金

7円(年間)

当社では昭和37年上場以来、一株当たり年7円の安定配当を継続しております。また、事業展開の節目には記念配当を実施しております。

## R&Dセンター試作棟が完成。研究・開発環境が一層充実

香川県宇多津町のR&Dセンターに隣接してこのほど試作棟が完成、平成16年1月より運用を開始しました。

化学品の開発においては実験段階を経た開発品の性能評価が大切な要素です。また、建材商品では試作や強度試験、作動テストなどが欠かせません。新しい試作棟は、両事業の研究・開発を行っているR&Dセンターにこれらの機能を隣接させることで、研究・開発の効率化と一層のスピードアップを図ることを目指しています。完成により化学品においてはユーザーも交えた性能評価のディスカッションの環境が整い、また、建材においては景観エクステリア等の大型商品の試作環境が強化されました。

概要は鉄骨平屋建て、床面積約500㎡で、化学品の試作・評価室2室、建材の試作室1室のほか、展示会等にも利用できる屋外ヤードを備えています。

今後、開発の成果を市場に問う最前線基地として活用してまいります。



R&Dセンター 試作棟

## レジオネラ対策に向け、新薬剤3アイテムを発売

レジオネラ菌の集団感染事故多発を背景に、平成15年7月、厚生労働省より「レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針」が告示され、公衆浴場施設に加え、医療施設、社会福祉施設、旅客船舶などの小規模入浴施設においても、レジオネラ菌による感染症対策が厳しく指導されることになりました。

当社は、これまでの入浴施設用清浄剤「スパクリン」シリーズに加え、このほど新薬剤3点を発売、この市場に向けた取り組みを本格化しております。



レジオハンター・ミニタブレット

入浴施設用塩素剤「レジオハンター・ミニタブレット」

浴槽に錠剤を入れるだけの簡単管理。3グラムの発泡性錠剤を1錠ずつアルミフィルムに個別包装しているため、医療施設や特殊老人施設、旅客船舶など小規模な浴槽の衛生管理に最適です。

入浴施設用配管洗浄剤「レジオハンター・パイプフィニッシュ」

酸洗浄・アルカリ洗浄の2剤洗浄方式で、すぐれた酸化分解力がレジオネラ菌の繁殖源となるバイオフィーム(生物膜)を強力に洗浄します。また、金属や各種ろ過材料に対し低腐食性です。

アルカリ泉用浴用水清浄剤「スパクリン・プロム60T」

臭素を有効成分としているので、塩素系薬剤の効果が弱くなるアルカリ泉質の入浴施設にも最適です。刺激臭も少なく浴室が快適です。強力な洗浄作用で、風呂水を常に衛生的に保ちます。

## 自然派舗装材「エクラン」と外装材「パレット弾性タイプ」新発売

けいそう壁など健康志向の内装壁材に加え、当社が今注力しているのが住まいの外装材と舗装材です。この3分野を伸ばすことで、塗り仕上げ材の総合メーカーとしての地位を確かなものにしてまいります。

鍍塗り水系ウレタン樹脂舗装材「エクラン」

主成分の天然砂に当社が独自に開発した液体顔料で着色し、水系ウレタン樹脂と混合します。液体顔料はユーザーの好みに応える多色化を一気に押し進めるとともに、現場で任意の2色以上をなじませながら塗り広げることで手作り風の自然な風合いの床面が作れます。水系ですから低臭気で環境にやさしいのも特長です。



エクラン施工例

外装塗り壁「パレット」弾性タイプ

外装材「パレット」には、塗面のひび割れ防止効果を大幅に高めた弾性タイプを新発売しました。カラーバリエーションは50色。鍍塗り、吹き付けなど現場に応じた施工方法も選べ、質感の高い多彩な仕上げが可能です。都市部を中心にサイディングに代わり人気が高くなってきた外装の塗り壁仕上げ市場に本格的に取り組んでまいります。



エクラン + パレット弾性タイプ施工例

## 建材子会社が合併。シコク景材(株)が発足

シコクグループのエクステリア製造子会社、日本建装株式会社とニッセイ工業株式会社は平成16年4月1日をもって合併し、シコク景材株式会社として新しいスタートを切りました。景材は景観材料の略。住宅、非住宅を含む広い意味合いの言葉です。シコク景材は、シコクのエクステリア事業の中核として一層効率的な生産体制を確立してまいります。



シコク景材(株)本社・多度津工場

証券コード 4099

会社概要 平成16年3月31日現在

会社設立 昭和22年10月10日  
 上場 東京証券取引所 第一部  
 資本金 6,867,706千円  
 発行済株式総数 59,598,063株  
 従業員数(出向者数33名を除く) 530人

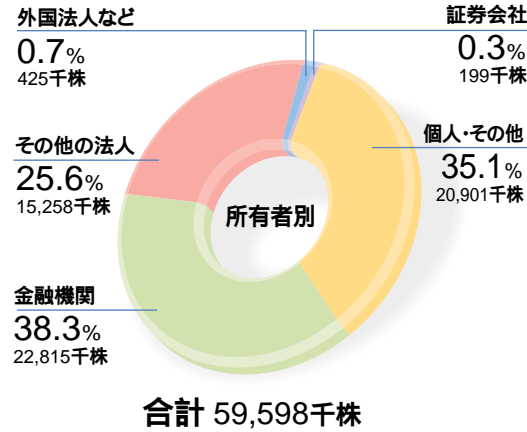
事業所 平成16年3月31日現在

支社	本社	支社
営業所	幕張支社	支社
	大阪支社	支社
	仙台営業所	支社
	高崎営業所	支社
	埼玉営業所	支社
	千葉営業所	支社
	東京営業所	支社
	神奈川営業所	支社
	静岡営業所	支社
	名古屋営業所	支社
	京都営業所	支社
	大阪営業所	支社
	岡山営業所	支社
	広島営業所	支社
	四国営業所	支社
	福岡営業所	支社
研究開発	R & D センター	支社
工場・倉庫	丸亀工場	支社
	徳島工場	支社
	徳島工場	支社
	多度津工場	支社
	詫間工場	支社
	嵐山工場	支社
	関東物流センター	支社

役員 平成16年6月25日現在

代表取締役社長 経営会議議長	山下 矩仁彦
取締役・経営委員 専務執行役員	玉城 邦男
取締役・経営委員 専務執行役員	漆原 武彦
取締役・経営委員 上席執行役員	吉田 修二
取締役・経営委員 執行役員	宮西 均
取締役・経営委員 執行役員	吉岡 隆
取締役	白川 一郎 (社外取締役)
常勤監査役	一馬 忠
監査役	山本 聖司 (社外監査役)
監査役	近藤 浩二 (社外監査役)
執行役員	田中 直人
執行役員	田辺 博臣
執行役員	小松 孝
執行役員	畑 元
執行役員	藤本 忠明

株式分布状況 平成16年3月31日現在



株主総数 平成16年3月31日現在

6,798名

大株主 上位10名 平成16年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日清紡績株式会社	4,756	8.30
日本生命保険相互会社	4,044	7.06
シコク共栄会	3,534	6.17
株式会社みずほコーポレート銀行	2,340	4.08
株式会社百十四銀行	2,340	4.08
株式会社香川銀行	1,800	3.14
株式会社四国銀行	1,750	3.05
株式会社伊予銀行	1,500	2.61
株式会社中国銀行	1,500	2.61
東京海上火災保険株式会社	1,414	2.46

四国化成工業グループ各社

建材 化学 サービス

連結子会社

シコク景材株式会社

資本金 498百万円 持株比率 100% 香川県仲多度郡多度津町  
 代表取締役社長 馬木 俊男 エクステリア商品の製造、店舗関連商品の製造

シコク景材関東株式会社

資本金 50百万円 持株比率 100% 香川県丸亀市  
 代表取締役 阿河 健三 シャッター等店舗関連商品の製造・開発・技術サービス及び設計・施工

四国興産株式会社

資本金 90百万円 持株比率 100% 香川県丸亀市  
 代表取締役 吉田 修二 各種製品の包装・梱包及び運搬

SHIKOKU INTERNATIONAL CORPORATION

資本金 700千米ドル 持株比率 100% Orange, California U.S.A.  
 Chairman & CEO 玉城 邦男 化学薬品の販売

シコク・システム工房株式会社

資本金 50百万円 持株比率 100% 香川県丸亀市  
 代表取締役 小山 文雄 コンピュータソフトウェアの開発及び販売、コンピュータの運営管理業務受託、その他情報提供サービス

株式会社新花太陽

資本金 20百万円 持株比率 100% 香川県丸亀市  
 代表取締役 西川 公二 ハンバーガーショップ(モスバーガー)の運営、造園緑化工事の設計・施工・管理、産業用資材・販促用品・家庭紙その他の販売

持分法適用関連会社

日本硫炭工業株式会社

資本金 400百万円 持株比率 31.5% 大阪市中央区  
 二酸化炭素の製造及び販売

その他関係会社

エスケー物流株式会社

Pro Packaging Inc.

株式会社四国環境測定センター

日本工機株式会社

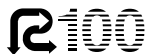
中讃ケーブルビジョン株式会社

## 株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定の基準日 定時株主総会、利益配当金…………… 3月31日  
中間配当金…………… 9月30日  
このほか必要ある場合は、あらかじめ公告して  
臨時に基準日を定める。
- 名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
(郵便物送付先) 東京都江東区佐賀一丁目17番7号(〒135-8722)  
(電話お問合せ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL.03-5213-5213
- 同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店および全国各支店
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
- 決算公告のホーム ページのご案内 当社の決算公告は、第83期より定款紙による決算  
公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社  
のホームページ(<http://www.shikoku.co.jp/>)に  
掲載しております。
- 上 場 取 引 所 東京証券取引所
- 株 主 様 窓 口 四国化成工業株式会社 人事総務部  
〒763-8504  
香川県丸亀市土器町東八丁目537番地1  
TEL.0877-21-4111

## 四国化成工業株式会社

インターネットで当社に関する情報がご覧になれます。  
<http://www.shikoku.co.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用  
しています。



この冊子はアロマフリー型大豆  
油インキを使用しております。